

統 計

主要国女子人口の年齢別特殊出生率および 合計特殊出生率：最新材料

女子人口の年齢別特殊出生率 (age-specific fertility rate of women) は、基本的な出生力指標として重要である。本統計では、最近刊行された国際連合『世界人口年鑑』(United Nations, *Demographic Yearbook*) の1984年版によって得られる多くの国についての最新の年齢別出生率、それからその平均的な指標としての意味をもつ再生産年齢 (15～49歳) 女子人口についての特殊出生率 (総出生率, general fertility rate), ならびにその総和としての合計特殊出生率 (または粗再生産率, total fertility rate), をも算定し、あわせて掲載した。近時、著しい変動を示す出生力の国際比較分析のための研究材料として役立つものと思われる。

なお、表示した国の配列は国連方式、すなわち、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニアの地域順で、地域内の国・領土はA B C (英語の頭文字) 順になっている。その他、詳しくは原典を参照されたい。本統計資料の作成は、人口情報部の山口喜一および坂東里江子両技官が担当した。

統計表利用上の注意

世界人口年鑑1984年版の原表 (表11) には、最近の利用可能な年次についての各国・地域 (領土) 別女子人口の年齢別出生率と、とりうる国の都市・農村居住別の女子の年齢別出生率が示されている。出生数の都市・農村区分は、それぞれの国や地域の区分によるものである。

一般に、15歳未満および50歳以上の女子からの出生児数は比較的わずかであるために、20歳未満および45歳以上の母についての出生率は、それぞれ15～19歳、45～49歳の女子人口に基づいて算出されている。同様に、すべての年齢 (総数) の女子に対する出生率は、母の年齢のいかんを問わない出生児総数に基づいている。ただし率は、15～49歳の女子人口を分母として計算されている。したがって、この全年齢に対する率が総出生率である。

年齢不詳の母による出生数は、率を算定する前に (国連統計局によって) 年齢の判明している母の出生に従って比例配分してある。しかし、按分以前に出生数の10%以上が年齢不詳の区分に含まれる場合の率については、脚注で明らかにされている。

率の算出に使用されている人口は、センサスあるいは実地調査に基づく、あるいは推定された年齢別女子人口によるものである。第1番に用いるようすめられるのは、同年次の年央における推計であり、第2番は出生が関連する年のセンサス結果であり、第3には、その年の年央以外の時点における推計人口である。

この表に示された率は、ある年次における出生児数が少なくとも100件以上を示している国や地域に限定されている。さらに、年齢階級区分の出生数が30以下に基づく率は「◆」の符号が付されている。それから、出生登録が (発生件数の90%未満しか登録されていない) 不完全なデータと登録率が不明なデータは、信頼性が薄いとのかえから、ローマン体でなくイタリック体で示されている。

この表に示されている率はいろいろの制約をもつが、次のことにも留意すべきである。それは登録率、出生登録以前の死亡あるいは出生後24時間以内に死亡した乳児の処理、および母の年齢の定義の方法と登録の (記入) 方法の3点である。さらに、ある出生率は、出生の発生時ではなく登録時によって集計されたデータを基にしている。このような率である場合は符号「+」で示してある。母の年齢別出生児数の集計に対する登録の遅れの影響は、比較的年齢の高い階級の年齢別特殊出生率に現われるかもしれない。いずれにせよ、45歳以上の高年齢出生率は、この年齢の出生率の高さを示すものではなく、出生が登録されたときの母の年齢によることを示していることがある。

なお、年齢不詳の按分方法は次の事実から批判を招くことがある。それは、嫡出出生児の母の年齢構成が非嫡出の出生児のそれと異なること、また、母の年齢が不詳の割合は嫡出出生児のそれよりも非嫡出出生児の方が高いことである。

都市・農村居住別のデータの比較可能性は、これらのデータの集計に用いられたそれぞれの国による都市と農村の定義によって影響される。国の人口センサスで使われた都市と農村の定義が、とくにそれに反する情報がない場合、それぞれの国または地域の動態統計の編集においても同様に用いられたと推定される。しかしながら、ある国または地域について、同一の都市と農村の定義が、動態統計データと人口センサスデータの両方に使われていないという可能性を否定できない。

比較可能性のいま一つの問題は、都市・農村居住別に区分された人口動態率が次のような偏りにも影響されることである。すなわち、動態率を計算する際、人口動態と人口センサスで異なった定義が用いられたり、率の分子（出生数）と分母（人口）の間に厳密な対応がない場合である。また、都市・農村の動態率の差は、動態事象を発生地で集計するか、あるいは常住地で集計するかによっても影響を受ける。

最後に掲載範囲であるが、この表に示された国や地域の数102に上るが、そのうち、都市・農村居住別の率は30の国や地域について示されている。なお、特定の種族集団あるいは国内の一部の地域の人口のみによるデータは、全国的な数値が欠けている場合に示されている。このようなデータは、一国全体の統計に代わるものとしてではなく、利用可能な統計の一指標として示されているものである。

結果表 主要国女子人口の年齢別特殊出生率および合計特殊出生率：最新材料

国・地域(年)	女子の年齢別特殊出生率(%)								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上 ³⁾	
〔アフリカ〕									
カーボベルデ(1980)	136.1	55.1	195.0	255.8	206.3	189.2	107.3	22.0	5.15
エジプト(1976) ⁴⁾	160.7	20.5	186.0	310.7	274.2	206.3	85.6	46.3	5.65
マラウイ(1977) ⁴⁾	206.7	135.6	280.3	275.5	241.3	195.8	126.0	118.1	6.86
モーリシャス									
モーリシャス島(1983)	75.1	39.6	131.3	128.1	83.9	39.2	13.9	1.8	2.19
ロドリゲス(1983)	152.1	93.2	273.7	219.2	150.9	137.7	74.8	◆26.9	4.88
ルワンダ(1978) ⁴⁾	123.0	49.5	302.0	403.7	376.7	308.6	197.9	116.7	8.78
セイシエル(1984) ^{*+}	115.4	67.9	184.8	196.6	117.3	92.1	32.3	◆4.0	3.48
チュニジア(1980)	151.9	36.7	207.8	294.2	249.1	170.6	76.9	37.7	5.37
ジンバブエ									
ヨーロッパ人(1978) ⁺	47.8	23.7	95.5	121.5	55.0	17.0	◆3.9	-	1.58
〔北アメリカ〕									
バハマ(1980)	96.2	97.0	168.8	152.8	92.0	45.4	16.3	◆2.4	2.87
バルバドス(1978) ⁺	64.1	74.8	117.5	78.8	47.3	35.2	8.9	◆0.5	1.82
バーミューダ(1983) ⁺	59.1	41.5	99.5	111.9	84.2	29.0	◆4.9	-	1.86
カナダ ⁶⁾ (1981)	55.5	25.9	94.7	124.2	66.6	19.0	3.1	0.2	1.67
コスタリカ(1983) ⁺	117.6	86.1	185.7		104.2		21.5		...
キューバ(1982) ⁺⁴⁾	61.8	95.6	117.3	81.2	41.9	16.6	4.6	2.7	1.80
グリーンランド(1983)	70.1	62.9	118.9	108.6	68.4	34.1	◆14.0	-	2.03
グアテマラ(1977) ⁴⁾	193.1	150.4	293.5	276.2	220.4	177.9	75.0	19.6	6.07
ホンジュラス(1979) ⁺	207.6	159.8	316.3	290.8	244.4	188.3	84.0	20.5	6.52
ジャマイカ(1981)	⁸⁾ 90.1	⁹⁾ 55.9	172.7		100.0		14.0		...
メキシコ(1979)	99.8	65.5	159.0	151.3	111.2	88.9	37.9	12.9	3.13
モントセラト(1982)	96.9	155.2	126.0	118.8	◆75.4		◆12.3		...
パナマ(1982) ⁴⁾	112.1	101.2	187.6	165.0	112.6	63.2	26.8	5.3	3.31
プエルトリコ(1980) ⁴⁾	88.4	78.1	176.0	153.8	85.8	37.8	10.5	1.4	2.72
セントクリストファー・ネイビス(1980) ⁺	122.7	129.7	176.3	157.6	103.1	76.7	◆27.1	-	3.35
セントルシア(1980)	144.2	174.1	248.8	207.3	142.4	73.3	23.7	◆2.8	4.36
トリニダード・トバゴ(1977)	101.7	78.2	181.5	157.4	114.4	59.6	18.2	2.8	3.06
アメリカ合衆国(1981)	61.0	53.6	112.0	112.0	61.4	20.0	3.8	0.2	1.82

結果表 主要国女子人口の年齢別特殊出生率および合計特殊出生率：最新材料（つづき）

国・地域（年）	女子の年齢別特殊出生率（‰）								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上 ³⁾	
〔南アメリカ〕									
アルゼンチン(1980)	103.3	81.8	173.8	179.1	132.0	74.4	24.5	4.5	3.35
ボリビア(1976)	116.4	51.9	165.7	185.0	164.8	124.4	65.8	27.1	3.92
ブラジル(1982)	94.0	56.6	155.0	155.7	111.9	67.5	27.5	5.3	2.90
チリ(1982)	84.8	66.7	149.3	141.0	91.5	48.2	17.0	2.3	2.58
エクアドル(1978) ¹⁰⁾	134.3	74.3	216.6	201.7	161.5	128.5	66.6	18.3	4.34
ペルー(1976) ⁺¹¹⁾	122.0	69.6	185.2	189.7	146.3	122.7	49.6	31.0	3.97
ウルグアイ(1975) ⁺	86.8	72.6	160.6	163.2	109.7	68.0	20.5	3.2	2.99
ベネズエラ(1981) ¹²⁾	138.8	101.6	216.0	203.1	155.8	99.2	45.5	9.7	4.15
〔アジア〕									
アフガニスタン(1979) ¹³⁾	232.5	159.9	332.8	350.6	262.7	230.4	104.0	80.1	7.60
バングラデシュ(1981) ⁴⁾	161.5	130.4	247.7	260.0	164.0	127.4	46.0	18.0	4.97
ブルネイ(1983)	115.7	41.7	148.6	200.1	163.7	101.9	39.4	◆ 6.8	3.51
キプロス(1983)	80.2	39.3	168.3	161.8	89.5	31.9	5.2	◆ 0.3	2.48
ホンコン(1982)	63.6	10.0	79.9	147.6	93.1	34.5	6.2	0.6	1.86
イラーク(1977)	123.5	51.4	156.9	198.8	188.8	135.8	63.2	31.7	4.13
イスラエル ¹⁴⁾ (1983) ⁴⁾	104.5	29.7	177.5	204.3	145.4	72.1	16.2	1.3	3.23
日本(1983) ⁴⁾ ¹⁵⁾	49.2	4.3	70.2	183.5	78.5	16.2	1.8	0.1	1.77
ヨルダン ¹⁶⁾ (1979) ⁺	219.7	79.3	245.3	254.2	326.1	340.6	272.5	149.2	8.34
韓国(1981) ⁺ ⁴⁾	82.0	11.1	141.0	233.7	87.4	23.4	6.2	1.8	2.52
クウェート(1980)	182.5	80.1	270.4	302.2	216.0	166.5	45.6	18.1	5.49
マレーシア									
半島マレーシア(1979)	122.3	36.7	175.3	230.7	182.5	113.0	44.4	5.5	3.94
サラワク(1980)	124.7	67.6	202.6	219.8	150.6	87.4	37.1	9.6	3.87
バキスタン(1976) ⁴⁾ ¹⁷⁾	206.0	56.3	271.2	348.2	305.3	225.7	127.6	72.5	7.03
フィリピン(1979)	132.3	52.5	202.0	214.0	170.8	128.7	61.4	11.8	4.21
シンガポール ¹⁸⁾	55.2	10.4	70.0	124.8	79.5	29.2	3.8	◆ 0.2	1.59
スリランカ(1980) ⁺	119.3	38.3	177.8	232.5	200.1	90.4	27.8	3.9	3.85
タイ(1983) ⁺	84.3	47.1	143.6	138.0	86.9	53.0	33.8	26.4	2.64
〔ヨーロッパ〕									
オーストリア(1983) ⁴⁾	48.1	29.7	108.6	100.7	50.7	18.8	4.0	0.3	1.56
ベルギー(1981)	52.1	18.9	114.1	129.6	54.0	16.5	3.2	0.2	1.68
ブルガリア(1982) ⁴⁾	58.4	84.1	186.1	90.9	31.1	9.6	1.9	0.2	2.02
チャンネル諸島									
ガーンシー(1981)	48.4	29.8	81.2	130.7	57.3	20.4	◆ 1.9
ジャージー(1981) ⁺	42.7	◆ 9.1	52.6	96.4	77.3	26.8	◆ 4.3
チェコスロバキア(1982)	63.8	51.3	196.0	111.8	43.8	14.2	2.5	0.1	2.10
デンマーク ¹⁹⁾ (1983)	40.3	10.6	79.5	111.6	55.4	15.2	2.3	◆ 0.2	1.37
フェロー諸島(1983)	66.3	31.0	131.3	129.5	88.0	34.4	◆ 13.2	◆ 2.2	2.15
フィンランド(1983) ⁴⁾ ²⁰⁾	53.8	15.7	87.3	126.7	78.0	33.2	6.6	0.4	1.74
フランス(1980) ²¹⁾ ²²⁾	62.5	18.1	122.5	144.0	79.7	27.1	5.3	0.4	1.99
ドイツ民主共和国 ²³⁾ (1983) ⁴⁾	55.6	48.5	169.2	98.2	35.1	8.9	1.3	0.1	1.81
ドイツ連邦共和国 ²³⁾ (1982) ²¹⁾	40.1	12.5	75.4	106.6	64.1	20.4	3.6	0.3	1.41
ギリシア(1981) ⁴⁾	59.9	48.9	147.7	124.8	64.4	25.5	6.1	0.8	2.09
ハンガリー(1983) ⁴⁾	49.9	53.9	145.4	94.2	37.6	12.0	2.5	0.1	1.73
アイスランド(1983) ⁺²⁴⁾	74.6	41.0	136.6	135.5	89.5	38.0	10.6	◆ 0.2	2.26
アイルランド(1983)	82.8	18.8	102.3	170.3	145.9	84.1	25.0	1.6	2.74
イタリア(1980)	46.5	19.9	97.0	109.4	63.8	26.0	6.3	0.5	1.61
リヒテンシュタイン(1982)	51.9	◆ 6.0	62.9	132.1	82.4	31.2	◆ 5.8	-	1.60
ルクセンブルク(1981) ²⁵⁾	48.0	17.1	88.8	115.7	66.7	19.3	3.8	◆ 0.4	1.56
マルタ(1983) ²⁶⁾	63.8	15.3	97.0	135.8	90.2	42.9	11.3	◆ 0.4	1.96
オランダ(1983) ⁴⁾ ²⁷⁾	46.2	7.7	66.1	130.1	69.7	18.2	3.2	0.4	1.48
ノルウェー(1983) ⁴⁾ ²¹⁾	51.8	19.8	97.3	120.3	67.8	22.4	3.6	◆ 0.2	1.66
ポーランド(1983) ⁴⁾	79.1	34.9	189.1	146.5	73.1	31.9	7.2	0.5	2.42
ポルトガル(1980)	62.8	40.0	134.0	115.5	68.8	36.4	15.1	1.9	2.06
ルーマニア(1982)	65.2	69.8	184.4	107.2	47.5	19.6	5.2	0.4	2.17
サンマリノ(1982) ⁺	42.1	◆ 21.7	77.4	89.4	58.2	◆ 27.6	◆ 4.4	-	1.39
スペイン(1978)	73.1	26.7	129.0	168.6	107.8	54.4	17.6	1.6	2.53
スウェーデン(1983)	47.1	11.7	83.0	121.5	74.7	26.1	4.7	0.2	1.61

結果表 主要国女子人口の年齢別特殊出生率および合計特殊出生率：最新材料（つづき）

国・地域（年）	女子の年齢別特殊出生率（‰）								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上 ³⁾	
スイス (1982) ⁴⁾	45.6	9.4	76.7	124.3	72.3	21.0	3.4	0.2	1.54
イギリス									
イングランド=ウェールズ (1983)	52.8	26.9	98.5	126.4	71.5	23.1	4.4	0.5	1.76
北アイルランド (1981) ⁺	78.7	27.8	139.3	178.2	119.7	53.7	12.8	◆ 0.7	2.66
スコットランド (1982) ⁺	52.7	30.3	103.5	122.5	64.8	20.6	3.7	◆ 0.2	1.73
ユーゴスラビア (1981)	64.2	43.6	158.2	121.9	60.6	24.8	6.8	0.8	2.08
（オセアニア）									
オーストラリア (1983) ⁺	62.2	26.5	102.7	146.1	81.5	25.0	4.3	0.2	1.93
クック諸島 (1981) ⁺	120.9	91.6	225.8	200.9	151.9	72.4	◆ 40.2	◆ 9.4	3.96
フィジー (1983) ⁺	112.4	54.9	226.5	186.3	114.0	58.2	20.3	5.1	3.33
グアム (1980) ²⁸⁾	110.9	74.6	194.1	174.5	116.8	53.5	25.0	◆ 2.5	3.21
ニューカレドニア									
ノール (1976)	125.0	86.1	250.6	196.7	128.7	86.6	36.3	◆ 3.3	3.94
ニュージーランド (1983) ⁴⁾	61.9	32.7	110.2	142.5	72.8	20.7	4.1	◆ 0.3	1.92
太平洋諸島 (1979) ²⁹⁾	165.9	100.2	242.4	263.4	212.2	143.6	54.9	◆ 7.9	5.12

都市・農村居住別

国・地域（年）	女子の年齢別特殊出生率（‰）								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上 ³⁾	
（アフリカ）									
エジプト (1976)									
都市部	140.4	19.4	157.5	299.8	242.0	164.9	55.9	27.9	4.84
農村部	178.6	21.4	216.0	319.7	301.1	238.1	108.6	59.8	6.32
マラウイ (1977) ⁵⁾									
都市部	208.2	119.1	272.1	273.0	241.4	194.3	113.5	101.0	6.57
農村部	206.5	137.1	281.1	275.7	241.2	195.9	126.7	118.9	6.88
ルワンダ (1978)									
都市部	201.7	53.1	265.1	336.3	283.3	223.6	130.7	62.1	6.77
農村部	238.0	49.6	302.2	404.0	379.3	311.1	200.2	118.5	8.32
（北アメリカ）									
キューバ (1982) ⁷⁾									
都市部	59.6	82.8	124.2	87.7	43.3	16.3	3.5	2.2	1.80
農村部	67.5	124.0	101.3	65.3	38.3	17.6	8.0	4.3	1.79
グアテマラ (1975)									
都市部	164.4	123.7	261.8	247.0	184.3	142.4	53.6	10.7	5.12
農村部	186.1	142.1	269.7	261.4	216.5	195.6	79.9	24.0	5.95
パナマ (1980)									
都市部	102.4	81.2	186.6	156.5	100.4	48.2	13.2	◆ 1.3	2.94
農村部	147.6	145.3	244.8	196.5	147.7	103.2	49.0	13.6	4.50
プエルトリコ (1980)									
都市部	65.0	49.9	126.7	125.4	69.6	27.7	6.5	◆ 0.5	2.03
農村部	139.1	130.2	278.1	215.9	121.9	60.9	20.2	3.8	4.16
（アジア）									
アフガニスタン (1979) ²⁰⁾									
都市部	189.6	120.3	262.9	285.5	249.3	183.8	74.6	47.5	6.12
農村部	240.3	168.6	346.9	362.6	264.9	238.5	108.2	85.6	7.88
バングラデシュ (1981)									
都市部	121.5	85.0	178.4	202.6	121.1	90.0	39.4	3.9	3.60
農村部	166.6	136.9	257.9	267.6	169.2	131.7	46.6	19.4	5.15
イスラエル ¹⁴⁾ (1983)									
都市部	92.8	25.7	158.4	183.6	130.6	61.4	12.1	0.9	2.86
農村部	205.1	57.7	342.0	387.6	273.9	167.6	54.5	6.0	6.45
日本 (1980) ¹⁵⁾									
都市部	50.7	3.6	70.7	176.3	73.2	13.3	1.7	0.1	1.69
農村部	54.3	3.7	98.8	194.5	70.9	11.1	1.5	0.1	1.90
韓国 (1980) ⁺									
都市部	88.4	6.9	139.1	248.8	90.7	16.9	1.9	—	2.52
農村部	93.9	9.0	205.2	288.9	119.1	39.4	8.4	1.6	3.36
パキスタン (1976) ¹⁷⁾									
都市部	192.6	42.7	257.0	382.8	294.4	214.7	88.0	45.3	6.62
農村部	211.3	62.6	277.3	335.4	309.2	229.8	141.7	82.7	7.19

結果表 主要国女子人口の年齢別特殊出生率および合計特殊出生率：最新材料

都市・農村居住別（つづき）

国・地域（年）	女子の年齢別特殊出生率（‰）								合計特殊出生率
	総数 ¹⁾	20歳未満 ²⁾	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上 ³⁾	
〔ヨーロッパ〕									
オーストリア (1981)									
都市部	43.8	29.8	102.6	92.8	45.6	15.6	3.7	◆ 0.2	1.45
農村部	60.6	38.7	139.0	120.2	62.0	25.4	7.2	◆ 0.6	1.97
ブルガリア (1982)									
都市部	53.8	65.7	144.5	88.0	31.9	10.0	1.9	◆ 0.2	1.71
農村部	70.0	142.2	392.7	98.8	29.1	8.9	2.1	◆ 0.2	3.37
フィンランド (1983) ²⁰⁾									
都市部	52.0	15.4	81.8	120.4	75.3	29.9	5.4	◆ 0.3	1.64
農村部	57.0	16.1	96.8	139.3	82.9	39.4	8.9	◆ 0.7	1.92
ドイツ民主共和国 (1981) ²³⁾									
都市部	54.6	48.3	170.9	100.5	33.5	8.6	1.5	◆ 0.1	1.82
農村部	64.8	61.8	185.5	105.1	37.2	10.6	2.2	◆ 0.2	2.01
ギリシア (1981)									
都市部	61.8	43.3	133.5	126.4	68.7	29.8	6.1	◆ 0.9	2.04
農村部	82.9	81.7	240.3	175.3	81.6	33.5	8.0	◆ 1.1	3.11
ハンガリー (1983)									
都市部	44.3	35.2	122.0	92.7	38.6	11.9	2.4	◆ 0.1	1.51
農村部	57.6	81.7	176.0	96.3	36.1	12.1	2.8	◆ 0.1	2.03
オランダ (1983) ²⁷⁾									
都市部	44.5	11.0	63.3	112.4	65.4	18.1	3.2	◆ 0.6	1.37
農村部	55.1	4.2	82.0	169.1	81.3	21.4	4.1	◆ 0.2	1.81
半都市部	45.9	4.4	66.0	145.9	71.9	17.3	2.8	◆ 0.3	1.54
ノルウェー (1980) ²¹⁾									
都市部	54.2	23.2	99.1	118.1	60.9	20.8	3.6	◆ 0.1	1.63
農村部	55.9	26.7	116.8	126.3	64.2	22.7	4.5	◆ 0.2	1.81
ポーランド (1983)									
都市部	68.1	30.7	154.0	129.9	64.0	25.9	5.1	◆ 0.3	2.05
農村部	99.2	40.2	250.8	180.1	93.2	44.8	11.2	◆ 0.8	3.11
スイス (1980)									
都市部	39.8	8.5	61.5	107.6	65.2	18.9	3.0	◆ 0.2	1.32
農村部	55.0	11.6	105.1	150.8	78.3	23.7	4.9	◆ 0.5	1.87
〔オセアニア〕									
ニュージーランド (1981) ⁺									
都市部	50.8	28.9	89.4	117.1	58.7	16.8	3.8	◆ 0.1	1.57
農村部	145.8	99.9	343.3	303.4	125.1	38.3	8.0	◆ 1.0	4.60

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1984, New York, 1986, 第11表による。ただし、合計特殊出生率はこれらの数値に基づいて人口問題研究所が算定したものである。

女子の年齢別出生率は、母の年齢階級別出生数の各年齢階級別女子人口1,000 についての率である。イタリック（斜体）で示したところは、不完全か完全性の不明な身分登録からの出生数を用いて計算された率なので注意を要する。* 暫定値。◆ 30あるいはそれ未満の出生数に基づく率。+ 発生の期日によらず登録期日による。1) 率は15～49歳女子人口により計算されているいわゆる「総出生率」である。2) 率は15～19歳女子人口により計算されている。3) 率は45～49歳女子人口により計算されている。4) 都市と農村居住地別の分類による率も後掲されている。5) 1977年人口センサスの結果に基づく。6) ニューフェンドランドを除く。ただし、率は総人口で計算している。一時的に合衆国にいるカナダ住民を含み、一時的にカナダにいる合衆国住民を除く。7) 全国消費者登録簿に記載された出生数に基づく。8) 15～49歳ではなく10～49歳女子人口により計算されている。9) 15～19歳ではなく10～19歳女子人口により計算されている。10) 遊牧インディアン部族を除く。11) 1972年に39,800人と推計された密林のインディアン人口を除く。12) 1961年に31,800人と推計された密林のインディアン人口を除く。13) 1979年人口センサスの結果に基づく。14) 東エルサレムおよび1967年6月以降、イスラエル軍の占領下にある地域のイスラエル住民のデータを含む。15) 日本にいる日本人のみ。ただし、率は地域内に駐留する外国の軍人・軍属とそれらの家族を除く外国人を含む人口で計算されている。16) 1967年6月以降、イスラエル軍によって占領されているヨルダン領のデータを除く。外国人は除くが、登録されたパレスチナ難民を含む。17) 人口成長調査の結果に基づく。18) 船舶にある一時滞在者および施設内に居住する軍人・軍族とそれらの家族を除く。19) 別掲のフェロー諸島およびグリーンランドを除く。20) 一時的に国外にいる国民を含む。21) 年齢区分は、子供の正確な出生期日によらず母の出生年次に基づく。22) 国外の軍隊を含む。23) ドイツ連邦共和国（西ドイツ）およびドイツ民主共和国（東ドイツ）に関するデータには、別個にデータが提供されていないベルリンについての関連したデータが含まれている。その場合に生じてくるベルリンの地位のいかなる問題についても、なんらの偏見なしに処理したものである。24) 発身後1年以内に登録された出生数。25) 常住人口。26) 率はマルタ人口のみで計算された。27) オランダの人口登録簿に記載されていれば、国外の居住者を含む。28) 合衆国軍人とその家族および契約被用者を含む。29) 合衆国軍人とその家族および契約被用者を除く。

参考表 主要国・地域の合計特殊出生率の推移：1950年以降

年次	カナダ ¹⁾	アメリカ ²⁾ 合衆国	オースト リア	ベルギー	ブルガリ ア	チェコス ロバキア	デンマーク ³⁾	フィンラ ンド	フランス
1950	3.37	3.02	⁸⁾ 2.03	2.35	¹⁰⁾ 2.41	...	2.58	3.16	2.92
1955	3.75	3.52	2.23	2.39	2.38	¹¹⁾ 2.57	2.58	2.91	2.70
1960	3.81	3.64	⁹⁾ 2.80	2.53	2.31	2.39	2.54	2.71	2.72
1965	3.12	2.93	2.69	2.60	2.08	2.37	2.60	2.40	2.82
1970	2.26	2.46	2.31	2.24	2.18	2.08	1.97	1.83	2.47
1975	1.82	1.80	1.84	1.74	2.24	2.46	1.92	1.69	1.96
1976	1.80	1.77	1.70	1.73	2.25	2.43	1.75	1.72	1.87
1977	1.77	1.83	1.64	1.71	2.21	2.38	...	1.69	1.90
1978	1.72	1.80	1.62	1.70	2.14	2.37	1.67	1.65	1.86
1979	1.72	1.85	1.62	...	2.06	...	1.60	1.64	1.90
1980	1.71	1.84	1.68	...	2.06	...	1.54	1.63	1.99
1981	1.67	1.82	1.71	1.68	2.01	2.09	1.43	1.65	...
1982	2.02	...	1.42
1983	1.56	1.37	1.74	...

年次	ドイツ民 ⁴⁾ 主共和国	ドイツ連 ⁵⁾ 邦共和国	ギリシア	ハンガリー	イタリア	オランダ	ノルウェー	ポーランド	ポルトガル
1950	...	⁸⁾ 2.05	...	¹⁴⁾ 2.54	⁸⁾ 2.37	3.10	2.53	3.64	3.15
1955	2.35	2.07	¹²⁾ 2.33	2.81	¹⁵⁾ 2.28	3.05	2.76	¹⁵⁾ 3.46	3.05
1960	2.37	2.34	2.22	2.02	2.31	3.11	2.85	3.01	3.01
1965	2.46	2.50	2.25	1.81	2.55	3.03	2.93	2.51	3.03
1970	2.17	2.01	¹³⁾ 2.32	1.96	¹³⁾ 2.36	2.58	2.50	2.23	2.88
1975	1.54	1.45	2.32	2.38	2.14	1.67	1.99	2.27	2.62
1976	1.63	1.46	2.35	2.26	2.01	1.64	1.87	2.30	...
1977	1.84	1.40	2.28	2.17	1.91	1.59	1.76
1978	1.90	1.38	2.29	2.08	...	1.59	1.77	2.20	2.28
1979	1.90	1.39	2.29	2.02	...	1.57	1.75	2.27	2.17
1980	1.95	1.47	2.23	1.93	1.61	...	1.73	2.28	2.06
1981	1.87	1.44	2.09	1.88	...	1.56	1.70	2.23	...
1982	...	1.41	...	1.79	1.71	2.34	...
1983	1.81	1.73	...	1.48	1.66	2.42	...

年次	ルーマニア	スウェーデン	スイス	イングランド =ウェールズ	スコット ランド	ユーゴス ラビア	オースト ⁶⁾ ラリア	ニュージー ランド ⁷⁾	日本
1950	...	2.32	2.40	2.19	2.55	3.81	3.06	3.39	3.65
1955	...	2.25	2.33	2.22	2.53	3.18	3.27	3.74	2.37
1960	¹⁶⁾ 2.04	2.17	2.34	2.67	2.87	⁹⁾ 2.78	3.45	¹⁶⁾ 4.11	2.00
1965	1.91	2.39	2.57	2.81	2.98	2.70	2.98	¹⁷⁾ 3.44	2.14
1970	2.89	1.94	2.09	2.38	2.51	2.29	2.86	3.16	2.13
1975	2.62	1.78	1.60	1.79	1.90	2.28	2.22	2.33	1.91
1976	2.58	1.69	1.53	1.72	1.79	2.27	2.14	2.27	1.85
1977	2.60	1.65	1.52	1.68	1.71	2.20	2.04	2.23	1.80
1978	2.54	1.60	1.49	1.75	1.75	2.16	1.98	2.09	1.79
1979	2.50	1.66	1.50	1.86	1.85	2.13	1.94	2.13	1.77
1980	2.45	1.68	1.84	2.14	...	2.05	1.75
1981	2.37	1.63	1.55	1.81	1.86	2.08	1.94	2.01	1.74
1982	2.17	...	1.54	1.76	1.73	1.77
1983	...	1.61	...	1.76	1.93	1.92	1.80
1984	1.81
1985	1.76

UN, *Demographic Yearbook*, 各年版の女子の年齢（5歳階級）別出生率に基づいて算定。ただし、日本は厚生省『人口動態統計』に基づいて女子の年齢各歳別出生率の合計として算出したもの。1)ニューファンドランドを除く。2)1955年以前はアラスカおよびハワイを除く。3)フェロー諸島とグリーンランドを除く。4)東ベルリンを含む。5)西ベルリンを含む。6)1965年以前は純血の原住民を除く。7)1955年以前はヨーロッパ人のみ。8)1951年。9)1961年。10)1953年。11)1958年。12)1956年。13)1971年。14)1949年。15)1957年。16)1962年。17)1966年。